

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2018年度達成度評価表 分野:学生支援

		評価	理由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	1 学生生活支援の充実	B	学生の健康管理について、定期健康診断受診率が目標値(受診率90%超)を達成した点は評価できる。医務室、学生相談室および事務室の連携体制を強固にし、更なる充実に期待する。学生相互が支え合う学修支援体制(ピア・サポート制)については、学生同士の成長にも繋がることから、すべてのキャンパスでの実施が望まれる。
	2 修学支援の充実	C	正課外での学修支援体制については、「ライティング何でも相談室」等の整備が進められる一方で、eラーニングシステムによる補講や図書館内における飲食可能な休息室の設置といった取り組みについては、検証が不十分であったり、予算面での理由で目標が達成できていない。学生が必要としている修学支援とは何か、学生の要望をきちんと把握したうえで、検討する必要がある。
	3 安全で快適なキャンパス環境の充実	B	学生アンケートの結果等、学生からの意見に基づき、トイレ洋式化や空調設置、フリー無線LANスポット整備を実現している点は評価できる。また、学生証のIC化についても、他大学の事例を調査する等、計画完了予定の2020年度末までの導入に向けた進捗が見られる。一方で、喫煙マナーや危機管理意識の啓発といった、学生の意識向上への取り組みには課題が残る。
	4 障がいのある学生への支援	C	支援体制の構築や教育環境の調整に関する情報収集や現状把握に努めた一年間であり、計画初年度として、今後に関わる土台が出来ている。2019年度以降の本格始動に期待する。
	5 課外活動の奨励と支援	B	課外活動所属学生の指導・育成として、幹部研修を実施し、のべ131名もの学生が受講しており、評価できる。2019年度の活動目標としている、技術指導者に対する研修についても、実行されることを期待する。課外活動に関する広報活動については、一定の進捗が見られるものの、改善余地があるため、継続的な取り組みが望まれる。
	6 キャリア支援の強化	B	キャリアセンターを中心とした全学的なキャリア支援については、おおむね目標どおりであり、一定の成果も上がっている。各学部における学部独自のキャリア支援については、卒業生を活用したり、学部の特性を活かした国内外のインターンシップ先の開拓等、創意工夫が見られる一方で、進捗が見られない学部もあるため、改善が必要である。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る